



掛川市内の6団体と、おもてなしの“みちづくり”に取り組みます

- ・新東名の開通で、県外から森町や掛川市など管内の市町を訪れる方が増えています。袋井土木事務所では、訪れる方に、いつも“きれいな”道路を利用していただけるよう、地域の皆さんや企業と協力して、おもてなしの“みちづくり”に取り組んでいます。
- ・12月19日(木)、掛川市内の6団体と「しずおかアダプトロードプログラム」に基づく同意書の調印式を、掛川市役所で行いました。

○ 新たな美化団体とその取り組み

- ・ **下俣町緑化部会、十王区緑化部会、西町区緑化部会、中町花の会、連雀区緑化部会**
 掛川市街で、花いっぱい“みちづくり” (木製フラワーポットを使用した草花の維持管理)
- ・ **倉真5区自治会**
 倉見温泉周辺で、きれいな“みちづくり” (歩道、路肩及び法面の清掃、除草、枝払い)



掛川市の松井市長からは「地域と行政の協働の“まちづくり”の一環として、日本一の花に満たされた“みちづくり”につなげてほしい」と挨拶しました。

袋井土木事務所の加納所長は、「皆さんと一緒におもてなしの“みちづくり”を進めていきたい。安全に気を付けて末永く活動を続けてください」と新しく美化団体になった6団体にエールを送りました。

- ・今回の同意書の締結で、掛川市内の美化団体は10団体(袋井土木事務所管内では34団体)になりました。
- ・袋井土木事務所では、これからも地域の皆さんや企業、市町と協働で“みちづくり”を進めていきます。